

幸せを探しているあなたに

どうすれば、神様に会うことができるのでしょうか



最高の学歴、最高の名誉、最高の物質を持ってもだめなこと
先月の26日、午前10時30分ごろ、サムソン電子の現職副社長がアパートから投身自殺したというニュースが伝えられました。学歴が足りなかったから

でしょうか。違います。彼はソウル大電子工学と、KAIST 電子工学修士、アメリカのスタンフォード大電子工学博士学位所持者です。お金が足りなかったからでしょうか。違います。数十億ウォン台の年俸と75億ウォンを越えるストックオプションの株式、現在、住んでいる家も、やはり大韓民国で最も高級アパートである三成洞(サムソンドン)アイパークです。名誉が足りなかったのでしょうか。彼はサムソン電子関係者だけでなく、学界でも認められた半導体メモリー公正革新分野の最高のエンジニアで、2006年グループ内の最高エンジニアに与えられる「サムソン・フェロー」にまで選ばれた人です。それなら、何が彼を自殺まで追い込んだのでしょうか。普段から病んでいたうつ病と、重大な業務負担と、新しく発令された部署での業務の強度にともなう過度なストレスが重なったためだと推測されています。

はたしてそうなのでしょうか。「人間は考える葦」という言葉で有名な数学者、物理学者、文学者、哲学者であるパスカルは「パンセ」で「人間は霊的な存在だ。それで人の心の中には神様だけが満たせる空間がある」と話しました。最高の神学者と呼ばれたアウグスティヌスは、過去の墮落と彷徨から立ち返って「神様、あなたはご自身のために私たちを造られて、私たちの心はあなたの中で安らぐようになる時まで平安を見つけることはできません」と告白しました。世の中は、私たちに目に見える人生がすべてだと話します、何か埋めることができないむなしさは、私たちに肉体の人生がすべてではないことを語ってくれます。

どのようにすれば、人間は真の幸せを味わえるのでしょうか。

人間は、神様のかたちとして造られた者で、神様とともにいなければならない霊的存在です。しかし、神様を離れてしまった人間の墮落によって、すべての人類は罪と死の勢力を持ってだますサタン(Satan)の支配の下に入るようになりました。人間はこの呪いから抜け出して、神様に会ってこそ真の幸せを得られるのです。しかし、人間の力、人間の肉体的な目では、絶対に霊である神様に会うことはできません。それで、神様が直接、人間の体でこの世に来られて人類を救うことに決められました。その約束が「キリスト」なのです。この世に来られて「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」と宣べ伝えられました。その方が自ら人類の罪をになって、十字架であがないの血を流して死なれました。そして、罪と死とサタンの権威に勝って復活されました。その方の名前が「イエス」です。死の勢力を持ったサタンも、死に勝って復活されたイエス・キリストの前で、完全に崩れてしまうのです。この事実を信じる信仰でイエス様を私の救い主、私の神様として受け入れれば、神様の子どもになる権威が与えられます。イエス様が聖霊で私たちの中に内住してくださると約束されました。その時から聖霊がずっと私たちを導いてくださるみわざが起きて、祈る時ごとに答えてくださり、天の御使いの保護を受けるようになります。聖霊に満たされるために祈る時、私の現場と世界を生かす伝道の門も開かれるようになります。イエス様を受け入れる瞬間、神様の子どもになって、死からいのちに、サタンの国から神の国に移されます。これが救いで、まことの幸せの道です。今すぐイエス様を受け入れる祈りをされるように願います。

ひとりでよいのです！

世界を動かすひとり ビル・ゲイツはWindowsを作って世界を荒らした主役です。ところで、その人を揺るがす人が出てきました。それは、iPhoneとタブレットPCアイパッドで世界をひきつけているアップル(Apple)のスティーブ・ジョブズです。そして、この二人を押しつけながら上がってきているのがgoogleが作り出したスマートフォンです。このように、ひとりによって世界経済も行ったり来たりする時代に私たちは生きています。ところで、この三人の特徴があります。内容面で優れた専門性と、この時代の時刻表を見る目を持っているということです。マスコミでは「やはり大衆が願うことを貫いた」と評価しました。そして、すでに全世界に土台(ネットワーク)をみな敷いておきました。それで、ひとりが全世界経済を動かせるのです。ジョブズは、27日アイパッドを初めて披露する発表会で「私達がアイパッドを作ったのは、アップルが常に技術と人文学の別れ目で悩んできたためです。これまで人々は技術に追いつこうと努めました。が、事実上は反対に技術が人について来なければなりません。技術は技術自体で存在するのではなく、人が利用しやすく、おもしろくなければならないという事実を、人文学が解きほぐしてくれました」と明らかにしました。

世界を生かすひとりの人 福音を持った重職者は、この時代のために神様が世々に渡って長い間、隠しておかれた祝福の主役です。福音は人間が解決できない霊的問題を解決する、神様がくださった解答です。この福音を味わえば、人を生かして世界を変化させるすべての祝福の門がみな開かれるようになって、この福音を持っている者が祈る時、世の中の科学を凌駕する霊的科学的答えが現れるようになります。今日の伝道(福音)、今日のみことば、今日の祈りを持って、ともに分かちあえる一つのチームと、一つの場所があるならば、驚くことが起きます。個人と世の中を生かすことに私が持っているタラント(専門性)が300%用いられて、すべての経済祝福までも回復するようになります。すべてのものは神様の御手にあります。みなさんの小さい献身在、まさに世界を生かす最も貴重な開始です。今は「みなさんが愛すことを見つけなければなりません。You've got to find what you love.」みなさんが本当に愛することは何ですか。

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どものお五つの確信

- 1 **救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、Iヨハネ 5:10~13)
- 2 **祈り答えの確信**：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 **導きの確信**：神様は聖霊であなたの中に、あなたすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)
- 4 **赦しの確信**：あなたすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 **勝利の確信**：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、Iヨハネ 5:4)

神様の子どものお毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともに、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされ、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともに、おられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

どんな遺産を残していくのですか

子どもたちが大きくなってきて、どんどん容姿や性格、食習慣、体質などが、もしかしたら、とても両親に似通っていいいませんか。私の子どもたちを見ながらも、その姿がおもしろかったり、不思議に思ったりします。とりわけ、私に似てほしくないという部分が自然にあらわれるときは、わざわざ教えたり、習わなかったのに血は仕方ないなという考えとともに、生活の影響力が大きいと考えるようになります。ジャーナリズムやマスコミで家族間や兄弟間に、たびたび遺産相続や財産分配の問題で世間を騒がせるような記事に接することがあります。他の見方をすれば、身内の話のようですが、平凡で多くの財産がない家でも、財産分配問題で大小の紛争と不和が家族と兄弟の間に起きて、往来さえなくなって他人のように生きていく人々の姿を、周囲にも簡単に見ることができます。結局、その財産や遺産が子どもと子孫に得になるのか害になるかは別にしても、とにかく、親は子どもといのちの関係なので、何か持っているものを残してあげたいと思うようです。

しかし、才能や財産のように、目に見える遺産だけがあるわけではありません。私たちの周囲を見回せば、不思議なほど、ものすごい貧しさが相続されたり、病気が相続されたり、よく直せない悪習が相続されたりもしています。

心理学では、アルコール中毒者のお父さんの下で幼い時から苦しみを受けて、虐待されてきた子どもたちが、自分は絶対にお酒を飲まないと、お父さんのようには生きないと心に決めて育つのに、結局は、そのお父さんのように、その子どももアルコール中毒やアルコール問題で人生の困難を経験することになる場合が多いことに対して、仕方ない環境による否定的な学習の結果だと説明したりもします。

しかし、聖書では、こういう相続問題が心理的、社会的学習や生物学的で遺伝的な問題でなく、霊的相続による問題であり、目に見えない霊的な背景

があることを説明しています。聖書は、神様が人間を救うためにくださった契約の思想を次世代に伝えることにすべての焦点を合わせておられるのに、サタンは徹底的にこれを防いでいることが見られます。そして、神様を離れるようにさせ、偶像に仕えるようにさせて、その結果で、呪いと災いから抜け出ることができないようにさせます。また、サタンは良いことをよくして、熱心に、誠実に正しく生きているのに、何かいつも難しい部分を与えて、私と関係なく、すでに来ている霊的問題と霊的相続から抜け出せないようにさせます。

聖書に出ている三代、四代に達する、この呪いと災いから抜け出せる道は、ただひとつの道しかないので、それが福音なのです。神様がくださった唯一の道、イエス・キリストを信じる信仰によって、罪と死の原理から、いのちの御霊の原理によって自由にされ、完全な祝福の福音を伝達する者として、今の世代と次世代の前に、信仰の先祖として立つようになるのです。

なくなること、紛争の元になる肉的な遺産ではなく、永遠な信仰と福音の遺産を私たちの次世代に残す私と皆さんになりたいものです。

(イ・チャンヒ牧師の『招待』から)

「今、どうぞあなたのしもべの家を祝福して、とこしえに御前に続くようにしてください。神、主よ。あなたが、約束されました。あなたの祝福によって、あなたのしもべの家はとこしえに祝福されるのです。」(サムエル7:29)



孤独な天才たち その残忍な成功



イラスト:ユン・スルギ

ある孤独な男性が空に向かって体を飛ばした。厳格な親を持つ息子のロマン、S大を卒業して日本のソニーを抜いた韓国屈指の半導体企業の最高エンジニア、超高速の昇進を繰り返した中堅幹部、重厚な中年男性として最もすてきであった五十台、平凡なサラリーマンが一生、使わずに貯めてこそ老後が保障されるという夢の金額 10 億ウォンは彼の一年分の給料、彼が持った株式の価値だけでも、数十億ウォンに達するというから、彼は明らかに成功した男性であった。そして、すてきな人だった。自分自身の専門性にオールインする男性。私はこういう男性が好きである。愛して大切にしたい会社に強硬に根をおろして、揺れない愛社心で裏切るようなことを知らない男性、明け方から夜遅くまで、全身を投げて仕事をすする男性、会社の仕事ならば週末の休みも喜んで返上する男性。それで、半導体部門で営業利益率を 40% にあげた男性。

こういう男性がいて、クンサという地、カンナム駅の繁華街に、夕陽を受けて水晶のように光る会社の建物が威風堂々と立っているのか…。このような男性の献身があったので、その会社の会長は非常に厳しい法の審判も自然に避けて、会長の奥様は高価の美術品を所蔵している優雅で気品ある女性として生まれ変わったのだなあ…。

しかし、その男性が命をかけた会社から裏切られたのだ。それは、裏切りでもないだろう、それは自分の考えであり、世代交代という言葉も知らないか…。四十五歳が定年である時代、よりよい未来のための冷酷であまりにも当然の現実。ジャングルの法則も知らなかったか、弱くなれば淘汰されることを…。この現実を受け入れることもできなかったその男性は、花より美しい中年の、また違う開始を後にしたまま、普段には口もつけなかった洋酒を片手に持って、彼の五十一番目の誕生日に 24 階から体を飛ばしたのだ。命のように思っていた会社に向かって孤独な悲鳴を突き出すように。

日刊紙ごとに、この上なく惜しむ彼の記事を読みながら、私は本当に悲しかった。それで、まるでその男性の家族になったように、しばらくの間、彼の心を推し量ってみた。もしかしたら、彼は、鳥かごに閉じ込められた鳥のように仕事に閉じ込められて、会社に閉じ込められて、昇進に閉じ込められて、人間関係に閉じ込められて、侮蔑感に閉じ込められて、うつ病に閉じ込められて、自慢に閉じ込められて、傷に閉じ込められて、比較意識に閉じ込められて、競争心に閉じ込められて、敵がい心に閉じ込められて、不平不満に閉じ込められて、憎しみに閉じ込められて、不安に閉じ込められて、羞恥心に閉じ込められて、自分の落伍を受け入れることができない頑固さに閉じ込められて、ぎゅうぎゅうになってびくともできない自分自身が限りなくわびしくて、ゆううつで無力だったのだろう。そして、日々、耳元にぐるぐる回る心の中の響き。「翼をつけてみて、ゆううつと飛んでみて、きみも飛べるといふことを見せて。きみは飛べる。あの下に繰り広げられた世の中を見て、特別なことではなく、あくせくして生きてきた世の中

というのは、たいしたものではないよ。飛んでみれば、その瞬間、平安になるよ。きみが一度も味わうこともできなかったその平安。競争もなくて、ねたみもなくて、いじめもない。また別の世界に向かって…。」それで、その男性は未練なく飛び降りたのだ。空に向かって上がって行くという錯覚を持って。

何人もいない天才たち、特別な人々がいて、この世は進歩する。そして、彼らは成功する。ところで彼らの成功は残忍だ。なぜなら、成功をもたらした根本的な実体をよく知らないためだ。ところで、聖書は、特別な何人かが味わう特別な成功に対して、このようにその実体を明らかにしている。「また、悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、こう言った。『この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。』」(ルカの福音書 4 章 5~6 節)

悪魔が願う者、彼を追従する者、すなわち、天才で誠実で真実で正しくて、教養があって性格がきれいで人格が優れていると見えても、彼がもし悪魔の追従者、デビルズ・アドボケート (devil's advocate) ならば、彼の成功はある日、崩れるしかない。悪魔はかならず、上げておいて、どうしようもなく落としてしまう残忍な存在であるためだ。それで、どんなに天才であるといっても、霊的に愚かに生きてると、ある日、訪ねてくる災いを防ぐことはできない。簡単に話せば、運命の時刻表によって訪ねてくる人生の問題は、だれにでも訪ねてくるのだが、その問題をお金や実力では解決できないということだ。

小学校から一番以外にはなかったことがない秀才が最高の年俸をもらって、ソウル市内で一番高い宮殿アパートで暮らせるならば、真に特別で幸せな運命に乗っていたのだ。ところが、その運命のスケジュールの中に 51 歳になる年、その日に自殺して死ななければならないストーリー一つだけこっそり挟まれていたとしても、それは絶対に成功的な運命でないということだ。それなら、すばらしくて誠実な天才も、悪魔の追従者であるということなのか。あまりに行き過ぎた宗教的発言だと言うかもしれない。

しかし、イエス様は教会もよく通って、救済もして、善行もしながら、律法もよく守るごんにちの成功者、律法学者とパリサイ人に向かって、冷徹で明白に、彼らの霊的な所属を明らかにしている。「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立つてはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです」(ヨハネの福音書 8 章 44 節)

道であり、真理であり、いのちであるイエス・キリスト、悪魔のしわざを打ちこわすために、この世に万王の王として来られたメシヤ、神様の奥義、その奥義を知らない霊的に愚かな人は、結局、成功して崩れるということだ。(ヨハネの福音書 4 章 16 節、ヨハネの手紙第一 3 章 8 節、コロサイ人への手紙 2 章 3 節)

随筆家、イエスサラン教会牧師夫人、キム・ユスン

* 相談したい方はこちらまでどうぞ